

鯖江市くらしをよくする会と議会との語る会実施後の 議会としての働きかけ等について

◆鯖江市くらしをよくする会の認知度向上に向けて

- ・2月議会報にて、鯖江市くらしをよくする会を紹介する市 HP の QR コードを掲載した。
- ・参加した議員個人として、鯖江市くらしをよくする会に関する情報発信を行った。

◆会員数の増加について

- ・地区ごとに役員を見つけることも大変であり、なり手不足については、各種団体における(地縁団体としての)長年の課題であり、今回、鯖江市くらしをよくする会においても表面化してきたということであり、議会として今後も課題として考えていく。

- ・会員になる前に、その団体がどのようなことをしているかプロフィールのようなものが知りたい。しかしながら、市民活動の情報を一元化して、鯖江市市民活動交流センター(NPOセンター)で情報発信をしているが十分ではなく、議会として今後の課題として捉え、今後の解決策に繋げたい。

◆フードドライブについて

- ・フードドライブについて、各団体の横のつながり、あるいは、横軸のコーディネーターを置くことで、お互いの実施時期を調整し鯖江市全体として通年型の取り組みとすることについて、議会から鯖江市に対して提案し、鯖江市からは、各団体、食品ロス削減の担当課(環境政策課)および関係課(ダイバーシティ推進・相談課)と連携して、今後、前向きに検討したいとの回答をいただいた。